



もう2月

つい先日3学期が始まったような気がするのに、もう2月です。始業式で「3学期は、1年で一番短い学期ですが、とても密度の濃い学期です。それだけに、自分でしっかり意識して、勉強や部活、学校行事に取り組むことが大切です。」と言いました。1月を振り返ってどうですか？満足いく人もいれば、少し後悔がある人もいるかもしれません。いずれの人も、自分なりに整理をつけて、残り2か月に頑張りましょう。

3年生は、受験まただ中ですね。すでに、志望校の合格を勝ち取って、進路が決定した人もいます。おめでとうございます。昨日は、公立高校の自己推薦選抜でした。この後は、高専や公立高校一般選抜と続きます。自分の目標を達成するために、残された時間を精一杯頑張ってください。

1、2年生は、今月、「学習の診断」と「学年末テスト」があります。すでに知っていると思いますが、学年末に1年間をトータルしてつける成績は、入試の時の、「1年生」や「2年生」の成績として書類に書きます。これは、3年生になって、いくら努力しても変わらないものです。ですから、今できる最大限の努力をしてください。

3学期は、「仕上げと準備の時」と言いました。それは、今の自分のためでもあります。将来の自分のためでもあると考えてください。来年、再来年、中学校卒業後・・・そのとき、どんな自分でいられるか。どんな生活をしているか。それが、今にかかっていると考えてください。後悔のない残り時間を過ごしてくれることを期待しています。



想像力を持ってください

SNSによるトラブルが少なくありません。「自分がされて嫌なことは、他人にしない」ことは当然ですが、大切なのは「想像力」だと思います。「これを読んだら、相手はどう思うか」「これを聞いたら、相手はどんな気持ちになるか」ということが、想像できるかどうかです。お互いが、少し想像力を働かせることで、いがみ合いや誰かが悲しい思いをすることは、避けることができるはずですが、もっとも、想像した上で故意に嫌がらせをするような人は、やがて社会からはじかれるでしょうし、回り回って、自分に不利益が返ってくるでしょう。でも、皆さんの中に、そんな残念な人はいないと信じています。一人一人が、相手の気持ちを想像する力を持ってください。

保護者の皆様には、お子さんにスマホを持たせるのなら、時々はお自分の目で見て確認することをお勧めします。スマホは便利な道具ですが、その分、いろいろな人や社会とつながります。スマホをもっていることで、リスクもついてくるということです。お子さんがトラブルに巻き込まれて困っていないか、逆にトラブルの元を作っていないか、手に取って確認することが、お子さんをそういったリスクから守ることにつながると思います。親に見せられない使い方は、考えるべきだと思います。10年以上前に日本の情報番組で紹介された有名になった「スマホ18の約束」というのをご存じでしょうか。アメリカのあるお母さんが、当時13歳の息子にスマホを与えてもいいか悩んだ末に作った、息子との間の契約書のことです。ネットで検索するとすぐに出てきます（日本語訳も各種あります）。紙面の都合上、ここに全文を載せることはできませんが、

「このスマホの持ち主は、あくまでもお母さんよ。」

「パスワードを決めたら、お母さんに知らせること。」

「学校には持っていないこと。直接話した方が、あなたの力になるわ。」

「うそや人を傷つけるための道具じゃないわ。人が人を傷つけるのを傍観したりそれに参加したりもダメ。」

「書き込む前に、その言葉を直接相手に言えるか考えなさい。」

「友達に、その家族が聞いたら傷つくようなことを言ったらダメ。」

など、共感できるものだと思います。まだの方は、一度ご覧になって、お子さんとの間での使い方の約束の参考になさってはいかがでしょうか。